



上：1年 劇「えんそくに いくだ」下：2年 音楽劇「ふたりは ともだち」 合奏「チェッチェッコリ」
学習発表会

発表会で得たもの

11月17日（金）、18日（土）

学習発表会へのご来場ならびに、衣装や子供たちへの励ましなど、様々なご支援ありがとうございました。どの学年も緊張しながらも精一杯やりとげることができたようです。準備や練習の過程では、自分の成長とともに友達のよさや協力の大切さを感じる様子が見られました。一部ではありますが、子供たちの感想をご紹介します。（学習発表会委員長：緒方 理子）

*

きょうは、おかあさんとおとうさんがきました。わたしはげきにむちゅうで、どこにいるかわかりませんでした。ちょっときんちょうしたけど、うごきを大きくつけてめだつようにしました。じぶんのめあてがしっかりできて、よかったです。（1年1組：小林 明香里）

あんなに人がいるなんておもしろかったです。きょうは、大きなうごきことができました。じぶんでもうまいとおもいました。そのわけは、うごきも大きくできたり、こえもいままでもより一ばんうまかったとおもったからです。

（1年2組 榎崎 理人）

*

「ふたりはともだち」のせりふでは、だんだんじょうずになって、お手紙がぜったいくるという気持ちがつたわるようにせりふが言えました。うたでは、かなしいとき、うれしいときのくべつをつけて、きもちをこめて歌えました。がっそうの本番では、ともだちとタンプリンがそろって、とてもよかったです。（2年1組 水沼 虹湖）

すごくきんちょうして、むねのドキドキが止まりませんでした。お母さんが前の方ですわっていたので、お母さんにつたえたい気持ちでせりふを言いました。じぶんの百点を見てほしいと思ってしました。百点を見せられてすごくよかったです。（2年2組 竹内 祐一郎）

頑張ったことは、見ている人に聞こえる声で話すことです。歌を、だれよりもはっきり大きな口を開けて歌うことです。台本をもらったとき、「こんなに長い話できないよ。」と思いました。でも、全員で力を合わせたら、あっという間に全員がせりふを覚えてしまいました。家でもたくさん練習をしました。身ぶりや手ぶりは、学校で相談しながらやりました。本番では、出番を待っているときの姿勢にも気がつけたのでうまくできたと思います。

（3年1組 米川 知宏）

みんなで一つになって協力し合ったからこの劇が成功したと思います。みんながいなければ劇が作れないからです。協力し合って、今までの練習を生かしたからこそ「宝はどこだ」が完成しました。1日目に二人お休みをしたときは、とても大変でした。二人いなくてもずれてしまうので、困りました。二人のためにもみんなで頑張りました。来年もみんなと一緒に頑張りたいです。

（3年2組 馬場 凜奈）

上：3年 劇「宝は どこだ！」 下：4年 劇「王様の耳はロバの耳」



学習発表会では、小道具づくりも頑張りました。ぼくたちは家来役なので剣が必要です。剣を入れるさやも必要です。だから、学校にあるダンボールを使って剣を作りました。剣の形や大きさは、一緒に作った友達と相談しました。そこで学んだことは、みんなで作れば早くできて、早く次のことができるということです。

（4年1組 前田 真志）

3年生のときは、「声を大きく」「表情をしっかり」を目標にしていました。4年生になったらうまくできるようになったので、せりふがないときの動きを目標にしました。ほう立ちだとえんぎをしているように見えないからです。友達と相談しながら、王様を落ち着かせたり考えるふりをしたりと、工夫しました。そうすると本当のえんぎみたいになってうれしかったです。

（4年2組 小野寺 さくら）



上：5年 合唱「野空海（のぞみ）」 合奏「違い日々」「風の谷のナウシカ」 下：6年 劇「オズの魔法使い」

ボディーパーカッションは、リズムが難しいことに加え、グループごとにリズムが違ったので、簡単に合わせることはできませんでした。しかし、みんなの気持ちが一つになり、音がそろった時は、本当に気持ちがよかったです。目標に向かってみんなで力を合わせることで、学習発表会を成功させることができました。これからも友達と協力しながら様々なことに挑戦していきたいです。（5年1組 工藤 夕輝）

合唱で歌った「野空海」は、アルトのメロディがかなり難しく、なかなか音程をとることができませんでした。パートリーダーを務め、苦労もありましたが、みんなをまとめることはとてもよい経験になりました。練習ではうまくいかなかったところも、本番ではきれいに音が重なって気持ちがよかったです。学習発表会を通して、最後まで諦めず取り組むことの大切さを学ぶことができました。（5年2組 池田 桃）

ぼくは、小学校最後の学習発表会で、改めて協力する大切さを学びました。今までも協力することは大切だったけれど、今回は裏方の仕事もあったので友達との協力がより求められました。本番で失敗したこともありましたが、全学年の演技、合唱、合奏が成功してよかったと思います。

（6年1組 曾根 清慈）

最期の学習発表会で6年生は「オズの魔法使い」をやりました。私は小道具係として、役ごとの小道具を作ったり、衣装を考えたりしました。本番中に舞台袖で小道具を急いで修理することもありました。大変な仕事だったけれど、とてもやりがいのある仕事でした。残された小学校生活の一日一日を大切に、卒業に向けて頑張っていきたいです。

（6年2組 陳 嘉奈）

学校保健委員会報告

視力は学力

11月1日（水）

健康診断の結果、4年生以上では1.0が見えない子が半数近くになり、眼鏡をかけていても1.0が見えない子が8割にもなっていたため、眼科校医の味木先生に視力と学力についてお話をさせていただきました。

これまで眼鏡をかけると近視が進む、弱い

眼鏡の方が目のためによいなどの間違った情報をもっている人がいたかもしれません。

しかし、きちんと視力が出る眼鏡を正しく使うことが目のためにも脳のためにもよいということを教えていただきました。また、臨界期といって、その時期を逃してしまうと身に付かない力があるということも教わりました。小学生の時期は心も体も成長する大切な時期です。時期を逃さず、健康に育ってほしいと思います。

（主任養護教諭：大竹 千登勢）



合唱隊の活動

「もっと歌いたい！」から4年

「もっと歌を歌いたい」という声から始まって4年目に入りました。1年目は6年生のみで活動していましたが、2年目から5、6年生を対象にしています。

練習は、火、金曜日の昼休み。僅かな時間ですが「こんには」という元気な声とともに、子供たちが集まって来ます。年に2回、4年生を対象にしたコンサートの他に、今年度から学校公開に合わせたミニコンサートの場をいただき、さらに練習に励みが出ているようです。

合唱コンクールの練習の時の事です。6年生を中心に、もっと良い演奏をするにはどうしたらよいかについて、自主的に話し合っていました。結束力の高まりと子供たちの意識に大きな成長を感じています。

（音楽科：東 素子）

